

2024年度第2回企業倫理委員会

2024年9月18日

委員長挨拶

本日は、お忙しい中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

まず、当社の業績につきまして、2024年度第1四半期決算は、前年度までの燃料価格の低下が一段落したことによる燃料費調整制度の期ずれ差益の大幅な縮小や競争環境の激化による総販売電力量の減少などにより、前年同期と比較して「減収・減益」となりました。一定の利益は確保したものの、引き続き、著しく毀損した財務基盤の立て直しに向けて取り組むことが必要であると認識しています。今後に向けては、島根原子力2号機の再稼働に全力で取り組むとともに、内外無差別な卸売取引に対応しつつ収益を拡大していくための小売・卸の競争力の強化、ヘッジ取引の活用による燃料価格や電力市場価格の変動リスクの低減、グループを挙げた経営効率化に取り組んでまいります。

一連の不適切事案については、策定した再発防止の取り組みを鋭意進めているところですが、このたび、国によるモニタリングへの対応など一応の目途がつき、取り組みの実効性についても一定の評価をいただいたところです。後ほどご説明しますが、こうした状況を受け、緊急対策本部として立ち上げた「不適切事案再発防止対応本部」は解散するとともに、各種取り組みの実施状況の把握や改善については、日常業務に落とし込みながら、引き続きしっかりと取り組んでまいります。

また、社員の思考や行動様式の変革のため、若手が中心となったプロジェクトを立ち上げるなど、当社の企業理念で掲げる「信頼。創造。成長。」に向け、まさに一步一步、新たな取り組みを進めているところです。こうした対応を進めていくことで、社会からの信頼を回復するとともに、さらにその先の「創造」と「成長」を実現していきたいと考えております。

本日は、忌憚のないご意見を賜りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

■ コンプライアンス推進施策の主な実施内容等について

コンプライアンス推進施策の主な実施内容、一連の不適切事案に係る対応状況等について説明した後、今後の取り組みにあたり有益なご意見をいただいた。

■ 主な意見

- 所属長による業務点検については、具体的な場面を想定した点検項目の設定や、所属長の回答において、回答理由や具体的な場面を記述してもらうようにした点、また、点検結果は1線で完結させるのではなく、2線で集約し、1線と共有して課題を確認する対応は「業務点検」の効果を上げる良い工夫と思う。
- 9月の監視等委によるフォローアップが問題なく終了することを前提として、不適切事案再発防止対応本部を解散することについては異論はないが、適宜実施される可能性のあるフォローアップについては、適切に対応できるような体制を維持していただきたい。
- 「中国電力はもっと変わろうプロジェクト」については、これまでのトップダウン中心からボトムアップが進む会社に変革していく可能性がでてくることが期待される。経営層は真正面からこれを受け止めていただきたい。
- 引き続き、役員による事業所訪問や研修などを通じて、経営層の考えや思いが社員に浸透するよう取り組みを展開いただきたい。

■ 内部通報制度の運用状況について

2024年5月～7月における内部通報制度の運用状況について報告し、次のとおり意見をいただいた（通報件数：9件）。

■ 主な意見

- 通報事案については、概ね迅速に対応できている。
- 職場内で本来解決されるべき問題もあり、コミュニケーション不足、風通しの悪さが引き金となっているように感じる。
- 不適切事案の水平展開について、「企業倫理相談窓口」が法令違反等の企業倫理上の事案の内部通報窓口として有効に機能できれば、職場における不正等の早期発見・是正に確実につながるものと思う。窓口で対応したものである旨を明確にした上での事案の水平展開は有用なPR手段の一つになるはず。これからも継続してPRに努めていただきたい。